

国際資源学研究科

Graduate School of International Resource Sciences



国際資源学研究科は、2016年4月に新設します。

Graduate School of International Resource Sciences to be established in April 2016

国際資源学研究科は、資源循環型社会の実現のため資源地球科学分野および資源開発環境学分野に関する高度な知識と専門性に裏付けられた最先端の教育・研究を進め、地球科学から資源開発、環境保全に至る広範な知識を修得し、グローバルリーダーとして活躍できる人材の養成を目的に設立されます。

【国際資源学研究科 博士前期課程】

地球規模の課題となった資源問題の解決を目指し、創造性豊かな人間性と国際的視野を併せ持ち、将来の資源エネルギー戦略の発展・革新を担う人材を養成します。

【国際資源学研究科 博士後期課程】

第一線の研究能力を有し、その研究成果を資源地域に的確に応用、新しい資源探査開発指針を提言できる高度な専門性を有する人材を養成します。

各課程・専攻ごとの説明

博士前期課程

専攻	専攻の概要	どんな人材を育てるか
資源地球科学専攻(17名) Department of Earth Resource Science	持続型社会を構築するための新しい素材開発に必要とされるレアメタル資源等、鉱物資源、エネルギー資源等の多様な資源の生成・賦存環境を解明するための研究を遂行するために必要な、地球科学に関する知見を学修させるための教育研究を行います。	鉱物資源、エネルギー資源等の多様な資源の生成・賦存環境を考慮した探査、資源などの探査技術及びそれに関連した資源の生成機構、地表層環境の変遷などに関わる専門分野の教育を行います。これにより社会の要請に応え得る新たな資源学の専門知識、専門技術と地球科学に関する広い知識を修得した人材を育成します。
資源開発環境学専攻(23名) Department of Earth Resource Engineering and Environmental Science	持続型社会の構築に必要とされるリサイクル技術、さらに低環境負荷型の資源開発・生産技術の開発に必要な、地球・資源システム工学に関する知見を学修させるための教育研究を行います。	資源探査や資源環境学から、石油・天然ガス・鉱物・地熱等の多様な天然資源の開発と生産、さらにリサイクル・製錬技術や廃水処理等の最新の環境保全に関する理論と最新技術に至るまで高度な専門教育・研究を行い、次代の資源開発に俯瞰的に取り組む技術者の養成を目指します。これにより社会の要請に応え得る最新の専門技術と資源開発環境学に関する幅広い知識を修得したグローバル資源技術者を育成します。

博士後期課程

専攻	専攻の概要	どんな人材を育てるか
資源学専攻(10名) Department of Geosciences, Geotechnolgy, and Materials Engineering for Resources	鉱物資源、エネルギー資源等の多様な資源の生成・賦存環境を考慮した探査、生産、開発及びそれらに伴う環境問題に関する科学技術から資源経済学、資源リサイクル技術など先進的な資源学に関する教育研究を行う。	第一線の研究能力を有し、その研究成果を資源地域に的確に応用、新しい資源探査開発指針を提言できる高度な専門性を有する人材を養成する。

博士課程教育リーディングプログラム

レアメタル等資源ニューフロンティアリーダー養成プログラム
New Frontier Leader Program for Rare-metals and Resources

国際資源学研究科に博士課程5年一貫教育プログラムを設置し、21世紀の国際資源開発に関わる諸課題に俯瞰力をもって挑める人材「資源ニューフロンティアリーダー」の育成を目指します。

設置後の学生の流れ

